

《お詫びと訂正》

『言語と文化』第7号の目次の表題に誤りがありました。慎んで以下のよう
に訂正させていただきます。

(誤) 情報語の出所——日本語の比較……………村山康雄

(正) 接続助詞「ものの」、「ものを」の分析——語用論の観点から——
……………村山康雄

〈編集後記〉

『言語と文化』第8号を発刊いたします。今号も各分野より卓越した論稿をいただき、充実した紀要とすることができました。玉稿をお寄せいただきました著者の皆様に心よりお礼申し上げます。編集作業に時日を要し、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

なお、英文のタイトル及び要約に関しては本学文学部の拝仙マイケル先生にご協力をいただきました。つつしんでお礼申し上げます。

新所長のもとで、時代を見据えた研究を志向する言語文化研究所の紀要として、今後とも一層発展させたいと願っておりますので、学内外の皆様の率直なご意見、ご批評をお願いいたします。

(加藤)

文教大学言語文化研究所紀要 第8号

1996年2月29日印刷・発行

編集 文教大学言語文化研究所

代表者 田口 和夫

発行 文教大学言語文化研究所

〒343 埼玉県越谷市南荻島3337

TEL 0489(74)8811 内線270

印刷 コスモプリント株式会社